

Press release

地元の大学と環境教材を共同制作 保育園児に向けて SDGs 教育を実施

武州ガス株式会社（本社:埼玉県川越市 社長:原 敏成）は脱炭素のまちづくりに向けた包括連携協定を供給エリア内の各自治体と締結し、さまざまな取り組みを開始しています。

今回のSDGs教育もその一環で、狭山市さまからリクエストをいただき、狭山市内にある「広瀬保育所」の園児12名が来社しました。

園児たちは、社員による「食育講座」でお米や野菜ができるまでの手順やフードロスの問題などを学んだ後、武州ガスの田んぼから収穫した新米をガスコンロで炊きました。

合間には稲穂やもみ殻、米ぬかなどに触れたり、自社で養殖しているうなぎの実物を見たり、埼玉県産の端材を活用した積み木を組み立てたり、楽しくSDGsについて学んでいました。最後に園児たちは炊きあがったごはんでおにぎりをつくり、美味しく食べてくれました。

今回の「食育講座」に使用する教材の制作には、尚美学園大学 情報表現学科の学生に協力いただきました。当社の特需開発・CNC推進チームメンバーと打ち合わせを重ね、園児たちが分かり易く飽きずに学べるよう、キャラクターやアニメーションを活用するなど、情報表現の知識や技術を活かして制作いただきました。今後も狭山市や所沢市、川越市の保育園で同様のSDGs教育を実施していく予定です。



〈本件に関する問い合わせ先〉

埼玉県川越市田町32番地12

武州ガス株式会社担当:企画チーム

TEL049-241-9590